

漁況情報 No.6

平成20年7月1日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

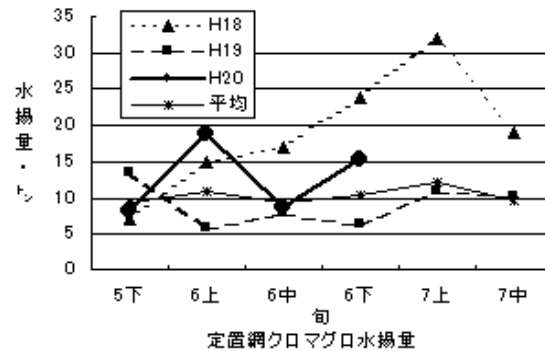
*本報は<http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/>に掲載しております。

《 トピックス 》

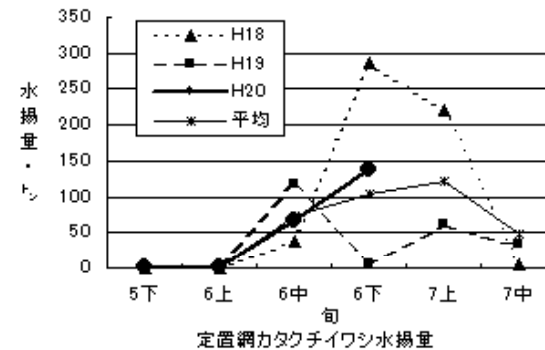
クロマグロ、カタクチイワシ(定置網)の水揚げは好調です。
スルメイカ(定置網)はやや減少しました。

1. 水揚げ状況

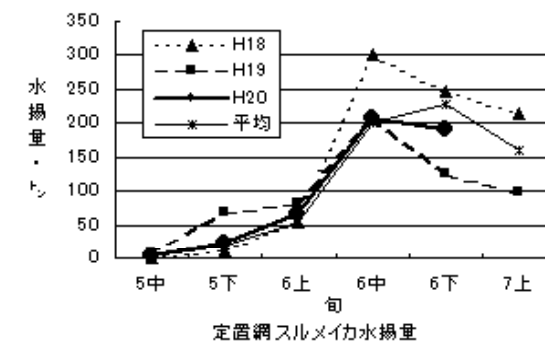
(1)クロマグロ(定置網)は大船渡を中心に水揚げがあり、6月下旬の水揚量は15.1トン(前年同期の2.4倍)でした。また、過去5年間の6月下旬平均水揚量は10.4トンで、旬水揚げはその1.5倍でした。年累計は67.9トン(前年同期の1.8倍)です。



(2)カタクチイワシ(定置網)は久慈を中心に水揚げがあり、6月下旬の水揚量は138.1トン(前年同期の23.4倍)でした。また、過去5年間の6月下旬平均水揚量は102.7トンで、旬水揚げはその1.3倍でした。年累計は242.2トン(前年同期の1.5倍)です。



(3)スルメイカ(定置網)は大船渡、山田を中心に水揚げがあり、6月下旬の水揚量は188.8トン(前年同期の1.5倍)でした。また、過去5年間の6月下旬平均水揚量は227.4トンで、旬水揚げはその83.0%でした。年累計は483.8トン(前年同期の96.9%)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎サバ類精密測定結果

6月27日に水揚げされたサバ類(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。

体長は28cmと34cmにモードがあり、6月上旬に比べて7cm程度大きくなっていました(図1)。雌雄別に体長をみると、それぞれオス28cm、メス34cmにモードがあり、オスに比べてメスが大型でした(図2)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがあり、両種は尾叉長(図3、A)と第1背びれの第1から第9棘までの基底長(同、B)の比で判別できます。すなわち、判別指数=B/A×100が12以上だとマサバ、それ未満でゴマサバとされています。本法によると、今回測定したサバ類は、マサバ4%、ゴマサバ96%であり、6月上旬(マサバ26%、ゴマサバ74%)に比べて、マサバの割合が低くなっていました。

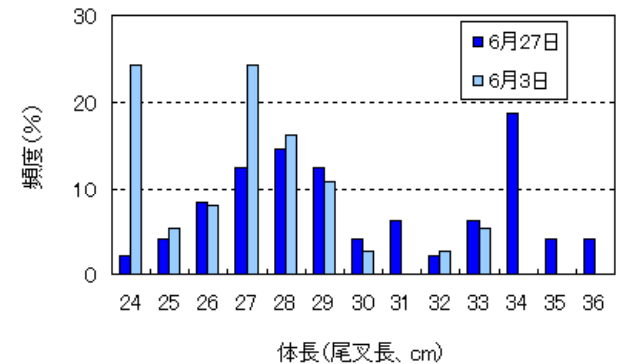


図1 サバ類体長組成(定置網、釜石魚市場)

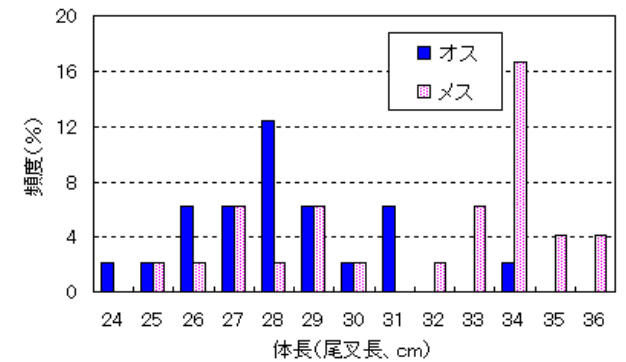


図2 サバ類雌雄別体長組成(H20.6.27、定置網、釜石魚市場)

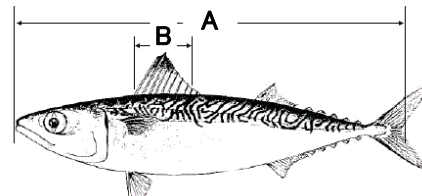


図3 マサバ・ゴマサバの判別

3. 調査船運航計画(7月)

	調査内容	調査期間
岩手丸	沖合定線海洋観測調査	7/8~11
	イカ漁場調査	7/3~4、/17~18、/22~25、/28~29
	サンマ漁場一斉調査	7/14~16
北上丸	タコ類かご、アイナメ延縄調査	7/1~2、/14~18、/28~31
	イカ漁場調査	7/3~4、9~11、22~23、
	仔稚魚・動物プランクトン調査	7/7~8、24~25

~~「フィッシャリィ.ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)もご利用下さい~~